

平成25年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・いもち病（No.1）

平成25年6月26日
鳥取県病害虫防除所

1 水稲いもち病発生予測システム（ブラスタム）の判定結果等

- (1) ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件又は準感染好適条件は、6月15日、6月19～24日にかけて広域で出現した（表1）。
- (2) 6月21日発表の気象1か月予報によると、気温は平年より高く、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されており、本病の発生に好適である。

表1 ブラスタムによる感染好適日の出現状況

日付	鳥取	岩井	青谷	智頭	倉吉	米子	下市	境	茶屋
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15			-	-					
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-		-		-	-	-	-	-
6/20									
6/21									
6/22	-				-				
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-		-	-	-		-	-	
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 感染好適日、準感染好適日

2 防除上注意すべき事項

- (1) 山間部などのいもち病の常発地では、粒剤の育苗箱施用を行っていても十分な効果が得られない場合があるため、ほ場の見回りを徹底し、早期発見に努める。
- (2) 本田において上位葉に急性型病斑がみられる場合には、粉剤、水和剤、治療効果を有する本田粒剤などを散布し、その後は病勢に応じて追加防除を行う。
- (3) 補植用置き苗は、本田へのいもち病の伝染源となるので、早急に処分する。

3 ブラスタムについて

ブラスタムとは、アメダスの気象データを用いて、葉いもちの感染に好適な条件であったかどうかを広域的に判定するシステムです。